

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	84	学校名	新居高等学校（定時制）	校長名	野崎 真司
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

学年制の夜間定時制の課程（普通科）として、個々の生徒の多様な特性・目標に応じた学習指導やキャリア教育、学年の枠を越えて行う特別活動を通して、心身ともに健全で実践力と創造力を持った地域に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> ○実社会で必要となる基礎学力を身につけた生徒を育てます。 ○自分と他者の良さを互いに認め、他者と協力しながら主体的に行動できる生徒を育てます。 ○挨拶を大切にし、ルールやマナーを守り、心身ともに健全な生徒を育てます。 ○個性を伸ばし、自らの進路を切り拓いて、地域に貢献できる生徒を育てます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学びなおし」を含め、少人数のクラスで丁寧でわかりやすい授業を展開し、基礎学力の定着を目指します。 ○定時制の授業以外に、通信制でも学ぶことで3年間で卒業可能な三修制を取り入れています。 ○学年の枠を越えて行う様々な活動を通して、コミュニケーション能力や社会性を身につけることを大切にします。 ○進学・就職に関する自己実現に必要な能力を身につけるため、地域や外部機関との連携を図り、キャリア教育を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数の集団で基礎から「学びなおし」をしたいと考える生徒。 ○学校生活を大切にしたいという気持ちのある生徒。 ○働くことで家計を助けながら、高校で学び、卒業を目指す生徒。 ○他者の考えや気持ちを尊重し、より良い学校生活を目指し、他者と協力できる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 生命が守られ、安全で安心して生活できる校内環境の整備
- イ 基本的生活習慣の確立と自立した生徒の育成
- ウ 確かな学力の育成
- エ 進路指導の充実
- オ 特別活動の充実
- カ 保護者・地域と連携し、開かれた学校づくりの推進
- キ 持続可能な教職員の働き方改善

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生命が守られ、安全で安心して生活できる校内環境の整備	・健康や安全に対する講義や実習の充実	・交通事故の発生、年間0回	生徒総務
		・人権意識を高めるため、人権講座、携帯マナー講座、思春期講座等を実施	・「他者を思いやる気持ちが高まった」と答える生徒80%以上	
		・防災に関する、より実践的な訓練や講習の実施	・避難方法を理解している生徒100%	
イ	基本的生活習慣の確立と自立した生徒の育成	・日常的な声掛けや保護者との緊密な連携による、欠席・遅刻・早退を減少させる指導の実施	・生徒の遅刻数、各学期10回以内の生徒90%	生徒
		・個々の生徒の課題に応じた指導を教職員の共通認識に基づいて実施	・校内の生活・学習環境の落ち着いた維持	
ウ	確かな学力の育成	・生徒の習熟度に合わせた、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る授業の実施	・「授業を通して学力が向上した」と答える生徒60%以上	教務
		・各生徒の課題を把握し、適切な対応をするための定期的な全校生徒の学習及び生活状況の共有	・「授業や、家庭学習での取り組みが向上した」と答える生徒60%以上	
		・言語活動を充実させることによる思考力、判断力、表現力の育成	・生活体験文や探究発表会等において、「表現」の作成と発表を通じ、自己を表現した生徒90%以上	
エ	進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育による職業観の育成と就職指導の計画的な実施 ・面談やアンケート、適性検査等を活用し、生徒の希望に沿った職業の紹介を積極的に実施 ・外部人材による進路講話の実施 ・支援員の計画的な配置による個別指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来の夢や目標を持っている」と答える生徒60%以上 ・進路先が決定した卒業生75%以上 	進路
オ	特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動、学校行事の活性化 ・学年の枠を越えて行う活動のさらなる推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒（会）による積極的な話し合いや生徒の自発的な運営を行う生徒の増加 ・集団への帰属感、連帯感の深まり 	生徒

様式第1号

カ	保護者・地域と連携し、開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動を円滑にするための持効性のある予算編成と執行 ・保護者からの相談等に対する、迅速で適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に満足している保護者70%以上 ・「保護者からの相談等に学校が適切に対応している」と答える保護者70%以上 	生徒 教務 総務 事務
		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、定時制通信、学校メール等を活用した情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活の様子がわかる」と答える保護者75%以上 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材活用機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携の促進 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・警察との情報交換の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察との連携の推進 	
キ	持続可能な教職員の働き方改善	<ul style="list-style-type: none"> ・公務に関する事務処理の簡素化、効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理に要する時間の削減、仕事の平準化、効率化を目指した取り組みへの提案2件以上 	全職員
		<ul style="list-style-type: none"> ・目標の共有による教職員の協働を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の仕事に対する充実感や連帯感の深まり 	

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。